

たなばた よる あま がわ わた ねん いちど
七夕は、7月7日の夜に、天の川を渡って年に一度だけ

あ ゆる ひこぼし おいひめ はなし ちゅうごく
会うことを許された「彦星」と「織姫」のお話で、中国から

つた ひ ねが ごと か たんざく ささ は
伝わりました。この日は、願い事を書いた短冊を笹の葉に

かざ つ はたお いと み た た
飾り付け、機織いの糸に見立てたそうめんを食べる

しゅうかん
習慣があります。



きゅうしょく つか じる
給食では、うなぎを使ったちらしずしやそうめん汁、

かわ
とうもろこしは2年生が皮をむいてくれました。

あお ちゃ いろ
デザートにはバターフライピーという青いお茶で色を

あま がわ み た
つけて天の川に見立てたゼリーです。





うなぎちらし、^ゆ茹でとうもろこし、^{じる}そうめん汁、^{あま}天の川サイダーゼリー^{かわ}